

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>						<b>4.1</b>
<b>Q-1 室内環境</b>			<b>0.40</b>			<b>3.5</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.2</b>	0.15	-	-	<b>3.2</b>
1.1 騒音		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 暗騒音レベル		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		<b>3.7</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能	遮音性能T-1もしくはT-2	<b>4.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
2 界壁遮音性能		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	スラブ厚150mm+直貼木質床材(合計厚180mm)	<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	スラブ厚150mm+直貼木質床材(合計厚180mm)	<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-	
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	-	-	<b>3.0</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 室温設定		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
4 ソーン別制御性		-	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.8</b>	0.25	-	-	<b>3.8</b>
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 昼光率		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
2 方位別開口		-	-	<b>3.0</b>	-	
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
3.2 グレア対策		<b>4.0</b>	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御	カーテン、庇(軒の出)により制御	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	-	-	
1 照度		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御	器具列毎のリモコン制御	<b>5.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.4</b>	0.25	-	-	<b>4.4</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	全面的にJAS☆☆☆☆以上を採用	<b>5.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		<b>3.6</b>	0.30	-	-	
1 換気量	建築基準法を満たす1.4倍以上の換気量(ビル管法対象外)	<b>5.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
2 自然換気性能		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		<b>4.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	全館禁煙エリア	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
<b>Q-2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.9</b>
<b>1 機能性</b>		<b>4.0</b>	0.40	-	-	<b>4.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>4.0</b>	0.60	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	<b>3.0</b>	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	<b>3.0</b>	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー法の利用者円滑基準を満たしている	<b>4.0</b>	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1 広さ感・景観		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画	意匠性、機能性、照明計画等を内観パース作成により事前検証	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.8</b>	0.31	-	-	<b>3.8</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.8</b>	0.48	-	-	
1 耐震性	重要度係数1.25を採用	<b>4.0</b>	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>4.4</b>	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁躯体の外側にレンガ積み	<b>5.0</b>	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	壁仕上: プラスターボード、木製合板等	<b>5.0</b>	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔	16年以上~30年未満	<b>4.0</b>	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔	16年以上	<b>4.0</b>	0.29	-	-	
2.3 適切な更新		-	-	-	-	
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新		-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
3 主用設備機器の更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		<b>3.2</b>	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
3 電気設備		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	光ケーブル、メタルケーブルの使用及び精密機器を1F以上に配	<b>4.0</b>	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>		<b>3.7</b>	0.29	-	-	<b>3.7</b>
3.1 空間のゆとり		<b>4.0</b>	0.31	-	-	
1 階高のゆとり	階高3.7m以上	<b>4.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長比重率 0.15	<b>4.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
3.2 荷重のゆとり		<b>3.0</b>	0.31	<b>3.0</b>	-	

<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>4.2</b>	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	パイプスペースの集約化、点検口(床、天井、PS)を適宜設置	4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	パイプスペースの集約化、点検口(床、天井、PS)を適宜設置	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	パイプスペースの集約化、点検口(床、天井、PS)を適宜設置	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	設備置場を本体建物から独立設置、室外機はテラスにまとめて設	5.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース	設備置場を本体建物から独立設置、室外機はテラスにまとめて設	4.0	0.22	-	-	
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>5.0</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		グラウンド等の屋外運動施設を除き可能な限り緑化整備を行う	<b>5.0</b>	0.30	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		周辺地域からの比叡山の見え方に配慮	<b>5.0</b>	0.40	-	-	<b>5.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>5.0</b>	0.30	-	-	<b>5.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	街路樹の整備(保存、移植、新植)、歩道の拡幅	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	緑化整備、ピロティを設置	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>4.0</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>4.5</b>
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>		屋根、外壁に外断熱施工	<b>5.0</b>	0.30	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
2.1	自然エネルギーの直接利用		-	-	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		<b>3.0</b>	1.00	-	-	
<b>3 設備システムの高効率化</b>		個別空調方式採用による搬送動力の軽減	<b>5.0</b>	0.30	-	-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>4.5</b>	0.20	-	-	<b>4.5</b>
4.1	モニタリング	主要システムの効率性能評価を行う	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	年間エネルギー消費量の目標値を計画	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.15	-	-	<b>3.4</b>
1.1	節水	自動水栓、節水型便器の採用	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水利用システム		3.0	0.33	-	-	
<b>2 低環境負荷材</b>			<b>3.4</b>	0.85	-	-	<b>3.4</b>
2.1 資源の再利用効率			<b>3.0</b>	0.35	-	-	
1	躯体材料の再利用効率		3.0	0.67	-	-	
2	非構造材料の再利用効率		3.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			<b>3.0</b>	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料			<b>3.0</b>	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			<b>3.0</b>	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性		仕上材と躯体が分別可能。PS、EPSの集約化	<b>5.0</b>	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避			<b>3.3</b>	0.18	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用しない	<b>4.0</b>	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>4.2</b>
<b>1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>4.3</b>	0.15	-	-	<b>4.3</b>
2.1	騒音	規制基準より-10dB以下に抑えられている。	5.0	0.33	-	-	
2.2	振動	規制基準より-5dB以下に抑えられている。	5.0	0.33	-	-	
2.3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
<b>3 風害、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>
3.1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
3.2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>4 光害の抑制</b>		広告塔なし。外壁レンガ積み(ガラス窓部には庇、屋根を設置)	<b>5.0</b>	0.10	-	-	<b>5.0</b>
<b>5 温熱環境悪化の改善</b>		植栽帯(低、中、高木)の整備、パーゴラ、ピロティ、庇の設置	<b>5.0</b>	0.30	-	-	<b>5.0</b>
<b>6 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>4.3</b>	0.15	-	-	<b>4.3</b>
6.1	雨水処理負荷抑制		-	-	-	-	
6.2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
6.3	交通負荷抑制	駐車場、緊急車両、メンテナンス車両動線の整備	5.0	0.33	-	-	
6.4	廃棄物処理負荷	一団地認定区域内に分別可能なストックスペースを計画	5.0	0.33	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
		12444 m <sup>2</sup>	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの 高効率化	5.0	-	-	-	5.0
		-	-	-	-	
3.1	空調設備	5.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-